

横断歩道マナーアップ運動の実施 ～交通ルール・マナーを守って交通事故防止～

【横断歩道マナーアップ運動とは？】

車両の運転者及び歩行者が、横断歩道及び横断歩道付近において、**遵守すべき交通ルール・マナーの理解と実践**を促進する啓発活動等を推進して、相互の交通安全意識を高揚させ、もって、交通事故の抑止を図ることを目的として、平成28年から県全体で実施しているものです。

【道路横断中の交通事故死者数】（R6.1～10月末）

- ・ 歩行中死者 **33人** 中、**18人** が道路横断中！

ドライバーからみて

11人 が右から左に横断、**7人** が左から右に横断

夜間帯は右から左に横断、**昼間帯**は左から右に横断が多い

- ・ 横断中死者の約8割が**高齢者**
- ・ **16時から20時**までの間に**多発**



【ドライバーの皆さんへ】～歩行者に優しい安全運転を～

- ・ 交差点に集中し、前後の**交差点付近（交差点から30mの範囲）**が注意散漫となりがち
- ・ 夜間は、**ヘッドライトが照らす範囲外**は極端に周辺が把握しにくい
- ・ 高齢者は、視野が狭くなり**周辺状況（車との距離や車の速度）**を読み取る機能が低下



・ 横断歩道では歩行者の通行を優先しましょう

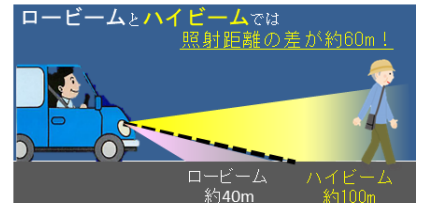
横断歩道の手前では**減速**し、歩行者がいるときは**必ず停止**を！

横断歩道やその直前で車両が停まっているときは、**通過前に一時停止**を！

・ 早めにライトを点灯、ハイビームを効果的に活用！

視界が悪くなる夕暮れなどの薄暮時は、歩行者をいち早く発見できるように**早めのライト点灯**を！

道路や対向車両の状況に応じた**ハイビームの効果的活用**を！



【歩行者の皆さんへ】～自らの安全を守る交通行動を～

- ・ 交通弱者と言われる子どもや高齢者の歩行者でも、状況により**“加害者”**となる
- ・ 信号交差点で横断歩行中死亡事故の歩行者が加害者になる原因は**“信号無視”**が最多
- ・ 昼間は、**右から来る車**に、夜間は**左から来る車**に特に注意

・ 近くに横断歩道がある場所では、横断歩道を利用しましょう！

「**止まって・見て・合図を出して・待つ**て」から渡る！

「**斜め横断**」「**車の影からの横断**」「**歩きスマホ**」も危険！

・ 「信号無視の横断」は絶対にやめましょう！

青信号でも左右や周囲の安全をしっかりと**確かめながら横断**を！

・ 夕方以降は、明るい色の服装・反射材を着用しましょう！

明るい色の服装と反射材用品の着用でドライバーにアピールを！

